



東京外国語大学長 中嶋 嶺雄

文部科学省の「英語指導方法等改善の推進に関する懇談会」が最終報告をまとめた。懇談会の座長を務めた中嶋嶺雄、東京外国語大学長に寄稿してもらった。

ものである。

基礎と上級を区別

昨年一月下旬、当時の中嶋嶺雄文部大臣から諮問を受けた懇談会は、この種の懇談会としては異例の十回にわたる会合と二回の学校現場の視察を経て最終報告をまとめた。去る一月十九日に町田信孝・文部科学大臣への改善策を提示することになった。この間、中間報告として諮議経過報告を昨年六月に公表し、関係諸団体や学識経験者それに国民各層からの意見を徴したうえで、委員各位と事務局の協力を取りまとめた。

英語指導改善報告の狙い

最終報告は英語教育を国民全体の英語力を高めるための方法と国際的に活躍する人材のための高度の英語力の養成とに分けて考えるという大前提に立っている。その上で、小・中・高の三つの段階で、英語教育の指導方法を提示し、同時に各段階での到達目標、評価基準、シラバス(授業計画)や教材の開発、情報機器の活用、教員研修の在り方、ALT(外国語指導助手)の増員と採用の条件などについて触れた。

特に、大学においては英語を学ぶ「のではなく、英語で学ぶ」カリキュラム編成への転換など、国際社会の変化に対応して活躍し、知的国際貢献を担う人材の育成を急務としている。

国際的人材の養成急務

二十一世紀の日本は、その潜在的に大きな可能性に満ちあふれている。国際的に活躍する人材の養成を急務としている。

この点、最終報告は国民全体の英語力向上のための指導方法の改善と、国際社会で活躍する人材のための英語指導方法の改善とに分けて提示することによって、英語公用語化論の議論を促している。

小学から一貫教育 大学は「英語で学ぶ」授業に

英語教育の可能性を含め、今後積極的に検討を進める必要がある。幼児期からの早期教育も、自身は様々な条件を付したうえで肯定的である。それは自身が体験している音楽教育におけるスズキメソッドの有効性、つまり耳から入る音楽教育とオラルな外国語教育とのきわめて高い相関性への確信によるものである。



自分たちの成長過程を学ぼうと八王子市立上柚木小の二年生が近所の保育園を訪問した。「おっはー」とはやりのあいさつをして、赤ちゃんを、こわごわだっ

ふれあう 保育園と交流

教育

主眼が平均主義を排して英語学習における明確な動機づけや目標を重視し、能力に即した習熟度別のクラス編成を策定する。文部科学省の担当部署が初等中等教育局であったEFL、TOEIC、ケンブリッジ英検などを積極的に活用する。ALTの採用要領が「総合的な学習の時間」に活用する。

職員室

青春の道標

▶▶8

始めはじめてのか、いじめられたのか、定かではない。人間は都合の悪いことは忘れるから、いじめられた記憶ばかりが強く残っているが、どうもいじめたよつでもある。

米倉 齊加年

いじめ、いじめられ 差別の意味を知る

た。彼は人気がない夕暮れ、薄闇の市電の停留所に一人佇んでいたそうである。

私はあまりのいじめに耐えかねて、歩いて福岡市の母校に通うと言って母を困らせた。疎開先の山村から市内の警固(けこ)の山村まで五里(ごり)二十(にじゅう)く

その村が被害者側であることとを知ったのはそれからまもなくであった。私の村の子が教えてくれた。私は遊びに行っていた。いじめの理由がわからなかった。助けられて初めて、差別の真の意味がわかった。

時流にあった体験学習を

十年前には一割にすぎなかった。社会や親の意識が変化した中、学校で体験学習を取り扱いはえだ。もはやスキーは、地域の中学生にとって

俳優

昨年、博多座に出演した折、後輩たちの応援で絵の展覧会を開催した。ある雑誌で私が大借金をして困っているという記事が出た。僕は腹を割って

出身の友人がこう言った。君たち疎開者は都会から農村にやって来た。まず学力が勝っていた。そして服装も良かった。言葉も違った。そんな外から侵入して来た異文化に降参するわけにはい

民が集まって来たもの。都会の子も農村の子も、その国の被害者であった。私は行きたいと母にせがんだ。母はしばらく黙っていた。去っていったおばあちゃんの方を一度見てその目を私に映した。じっと見ていたが「行ってよかよ」と教してくれた。

しかし、最近の様子が一変。十年前には一割にすぎなかった。社会や親の意識が変化した中、学校で体験学習を取り扱いはえだ。もはやスキーは、地域の中学生にとって